

公民館だより なかがわ

第524号

令和8年7月1日

発行 中川地区公民館

TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】 参加者募集

スマホ教室

7月7日(火)・28日(火) 10:00~

両日ともにまだ空きがありますので、ぜひお申込みください！
内容は、6月の館報か、公民館までお問合せください。

「大人のピッツア作り体験教室」

日時：8月7日(金) 9:30~12:00頃

場所：もと「CalmHill (カームヒル)」(権現堂)

(現地集合になります。車はカームヒルの駐車場にとめて下さい)

講師：齋藤 秀明 館長(中川地区公民館)

内容：館長こだわりの野菜を使ったピッツアを作ります！

材料費：2,000円(ピザ2枚、コーヒー付き)

※1枚はその場で食べます。2枚目は持ち帰ります。

持ち物：エプロン、三角巾、持ち帰り用の皿(直径25cm以上)

対象：中川地区民

定員：**先着8名限定**(定員になり次第、受付終了)

申込み：7月14日(火) 9時から電話でのみ受付

それ以前の受付はいたしません。

わんぱく広場「花火祭り」

日時：7月27日(月)

19:00~20:00

場所：中川地区公民館広場

対象：中川地区の小中学生

(小学生は大人の付き添い必須)

※詳細は、小学校配布チラシ、
地区回覧チラシをご覧ください。

中川地区ソフトボール大会

日時：8月23日(日) 8:20集合

場所：中川地区公民館前広場

対象：中川地区在住又は出身の中学生以上

※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください。

予告

中川地区シニア1泊研修会

日時：8月27日(木)~28日(金)

場所：宮城県気仙沼方面を予定しています！

対象：中川地区民

※詳細は、8月の地区回覧チラシをご覧ください。

お申込み・お問合せ：中川地区公民館(☎679-2501)

7月・8月 行事予定



7/1(水) 市報、館報、中川食改研修会
7/3(金) 中川地区活動事業補助金審査委員会
三者会、会長会、路線バス対策協議会
7/4(土) さわやかコンサート「アンサンブルだっちゃ」
7/7(火) 一般講座「第1回スマホ教室」
7/10(金) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)
7/15(水) ~16(木) 会長会研修旅行
7/17(金) パソコンクラブ
7/21(火) そば打ち愛好会
7/24(金) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)
7/26(日) 中川地区夏の安全パレード
【25(土)~31(金)防犯啓発期間】
7/27(月) わんぱく広場「花火祭り」
7/28(火) 一般講座「第2回スマホ教室」
7/31(金) 市報・館報・福祉村だより

8/4(火) 三者会、会長会、公民館運営協議会
活動交付金交付式
白石上山線建設促進対策協議会
8/7(金) 一般講座「大人のピッツア作り体験教室」
8/18(火) 粋いき倶楽部
8/21(金) そば打ち愛好会
8/23(日) 中川地区ソフトボール大会
8/24(月) 上生居堀切永野開拓線建設同盟会総会
8/25(火) パソコンクラブ
8/27(木) ~28(金)中川地区シニア1泊研修会
(両日とも公民館が閉館します)
8/31(月) 福祉村運動会全体会議

★★★ 休館日のお知らせ ★★★★★★★★★★

8月12日(水)、13日(木)は休館日となります。
ご不便おかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

グラウンド・ゴルフ愛好会
(月曜日) 7/6、13、22(水)、27
詩吟教室(火曜日) 7/7、14、21

ラージピンポン愛好会(木曜日) 7/2、9、16、23、30
スポーツ麻雀愛好会(木曜日) 7/2、9、16、23、30



中川地区食生活改善推進協議会主催 「笹巻き作り講習会」開催

6月2日(火)中川地区食生活改善推進協議会主催の「笹巻き作り講習会」が開催され、多くの方に参加していただきました。中川福祉村の笹巻宅配事業で作っている「笹巻き」は、作り手が年々減ってきています。多くの地区民に作り方を伝達し、この伝統ある笹巻きを後世に伝えていこうという取り組みです。参加した方々は、食改の会員さんに教えてもらい、難しいながらも楽しく笹巻き作りに取り組み、約120個を作り上げました。作った笹巻きは持ち帰り、帰ってからの楽しみとなりました♪



【一般講座】「みそ作り教室」



6月9日(火)石井伊惣治商店の石井 茂治さんよりお越しいただき、一般講座「みそ作り教室」が開催され、今年も多くの方に参加していただき、麹3割増しの味噌作りに挑戦しました。毎年開催を楽しみにしている方が多く、10kg作る方も多数いらっしゃいました。麹をほぐして塩を入れ、朝から蒸してつぶしてもらった大豆と水を入れて、手をかけた分だけ美味しくなるとのことで、皆さん一生懸命混ぜていました。最後に、保存場所や管理方法などを教えていただき終了となりました。100日後の出来上がりが楽しみです。美味しいみそになりますように！



第1回 白衛消防訓練

6月11日(木)「中川地区公民館1階調理室の鍋から引火し周囲に延焼」という想定で、第1回白衛消防訓練が行われました。館内を回って大声で火事振れをする人、119番通報をする人、来館者を誘導する人と役割を決め、本番さながらです。また、「スポーツ麻雀愛好会」の皆さんと一緒に水消火器を使い消火訓練も行ないました。「いざ」という時に、できる限り慌てずに消火器を使えるように、1年に一度でも訓練しておく事が大切ですね。



ウォーキング教室「神社巡り」



6月19日(金)第3回ウォーキング教室は「神社巡りコース」で開催されました。市内にある神社をピンポイントとして目指し、いざスタート!! 上山八幡神社・栗川稲荷・石崎神社・黄金神社と普段でもなかなか行くことのない街の中の神社を巡り、初夏の日差しを浴び、時より吹く風に癒されながら、ゆっくりと歩いて来ました。



中川福祉村 蔵王山頂清掃とつつじまつり

6月13日(土)中川福祉村「蔵王山頂清掃とつつじまつり」が開催され、各地区会長、福祉村役員、福祉村の各施設の皆様から参加をいただき、車両7台での出発となりました。天候にも恵まれ、多くの観光客がいる中で時折お釜を眺めながら、1時間ほど清掃活動に取り組みました。ゴミは空き缶などが多く、瓶の破片やビニール袋などもありましたが、以前よりも少なく感じました。清掃後は坊平のつつじ公園で解散となりました。今年はつつじの開花が早かったため満開のつつじを見れず残念でした。来年も多くの方に参加していただき、清掃活動ができればと思っています。休日にもかかわらずご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



中川福祉村 中川やすらぎ笹巻き宅配事業

6月15日(月)~17日(水)、中川福祉村「中川やすらぎ笹巻き宅配事業」が開催されました。15日、民生児童委員の皆さんによる約1,600枚の笹の葉取りと、中川地区食生活改善推進協議会会員さんが笹の葉を一枚一枚洗うことから始まりました。16日、食改さんと地区のボランティアの方々により660個の笹巻きが作られ、17日、中川小学校4~6年生の心のこもった手紙と共に、民生児童委員の皆さんが笹巻きと手紙を楽しみにしている地区内の一人暮らしの高齢者の方に配達しました。全世代がともに生き、喜びを共感できるこの福祉の心は絶える事なく受け継がれていかなければならないと改めて感じました。ご協力下さいました多くの皆様、お忙しい中、連日の作業本当にお疲れ様でした。心より感謝申し上げます。



第1回主事部会

6月8日(月)上記会議が開催され、今年度の主事部の部長、副部長を選任し、事業計画、予算案について協議しました。今年度も、主事部主催のさわやかコンサート、また、福祉村事業の中川福祉村大運動会・文化産業まつりなど多くの事業でご協力いただきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



忘れもの

忘れ物・落とし物です。
お心当たりの方は、公民館までお知らせ下さい。
9月末までお引き取りがない場合は、公民館で処分させていただきます。
ご了承のほどよろしくお願いいたします。



黒色ブーツ 25.5 cm

黒色スニーカー 25 cm くらい



黒色防寒ジャンパー 3L



新品の作業ズボン 2着
ウエスト 100 cm



グレー色
ジャンパー M

おらほの中川〈地域の話題シリーズ 第二百十三弾〉

「昭和考、問わず語り（その65）」

昭和十六年八月一日のアメリ力による石油輸出禁止以降、国内は対英米戦辞さずという声が強まります。近衛首相は、状況打開のためルーズベルトの首脳会談に望みをかけますが、会談の進展がなく、軍部強硬派は、次第に対英米戦を選択肢とせよと主張し始めます。

本稿は、その後の国運を決定づけた九月三日の大本営政府連絡会議の状況について記述します。

〈政府連絡会議を前に軍四者で対英米戦を話し合う〉

大本営政府連絡会議の前に「対英米戦を辞せず」をどのように国策に組み込むかの話し合いが陸軍省、海軍省、陸軍参謀本部、海軍軍令部の四者で行われた。日本が戦争をすべきか否かをこの四者で決めるという形は、明治の日清、日露戦争でもなかった異様なことであった。

叩き台は、海軍省幕僚が作成した案が用いられた。そこには、「対米英蘭戦を決意して」という一節があり、その決意で外交交渉を進めるということであつた。

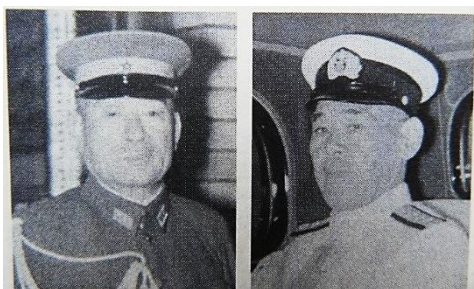
これに対し、陸軍参謀本部作戦部長の田中新一は、石油を止められたのだから開戦は早い方がいいと主張した。一方、海軍軍令部作戦部長の福留繁は、軍令部の幕僚を抑える形で、もう少し外交を見守ろうという、陸軍省軍務局長の武藤章、海軍省軍務局長の岡敬純もそれに同意した。その結果、三者の意見をまとめる形で「対米英蘭戦を辞せざる決意の下に」と訂正された。

〈政府連絡会議で、十月下旬に戦争準備することを確認〉

九月三日の大本営政府連絡会議は、七月二日に決まった「帝国国策要綱」をどのように変えるかの会議であつた。三日後の六日の御前会議で、政府、軍事指導者はどのような決定を天皇に示すべきか、その最終調整をするのが会議の役割であつた。

初めに海軍軍令部総長の永野修身（写真①）が新たな要綱の説明を行った。そこには、凄まじい内容があつた。永野は、外交の見込みなき後は、「早く決意するを要する。今なれば戦勝のチャンスあることを確信する」と言った。いわば、即時開戦であつた。

陸軍参謀総長の杉山元（写真②）は、内閣が提示している三案の中の第三項にある「外交交渉により十月上旬頃に至るも、なお我が要求を貫徹し得ざる場合においては直ちに対米（英蘭）開戦を決意す」を取り上げ、外交交渉がズルズルと延びるのには反対だと言ひ、北の作戦（ソ連との戦争）を考えて、南には早く作戦を進めべきだと主張した。統帥部（参謀本部、軍令部）は、すでに戦争を望んでいた。



（写真②）

（写真①）

内閣が提示している三案の一項では、対米（英蘭）戦争を「辞せざる決意の下に、十月下旬を目途に戦争準備を完遂する」とつた、第二項では、「外交交渉に専念する」との条文になつていたので、統帥部は、天皇の前で、開戦を早く決意すべきであるとの論を展開することを明らかにしたのである。

この時の会議で、海相の及川古志郎は、第三項の「我が要求を貫徹し得ざる場合」という一節に疑問を示し、「我が要求が貫徹し得る目途なき場合」と直してほしいと要求した。海軍省としては、こうしておけば十月下旬になつた段階で、目途があるかないかの議論ができ、開戦に歯止めをかけられると読んだのである。

甲石地区 高橋 正之

近衛は、こうした議論に積極的に関わっていない。あれこれ議論したところで、最終的にはルーズベルトとの会談で決着をつけようと考えていた。軍事部門で外交交渉に対して「十月上旬」という枠組みを作ってきたことにも、関心を示さなかつた。

〈天皇が苛立ちを示す〉

御前会議の前日五日、近衛首相が天皇の前に進み出て、御前会議でどのような内容話し合うかを説明すると、天皇はすぐに苛立ちを示した。

近衛の持参した「帝国国策遂行要綱」草案には、日本の選択肢が三項に整理されているが、その順序がおかしいのではないかと質した。その第一項は十月下旬を目途に戦争準備を完遂するとあり、第二項は外交交渉に専念とありあつた。そして第三項には十月下旬に外交交渉がうまくいかなかったら戦争を決意するとあつた。

天皇は、「これでは戦争が第一で、第二が外交ではないか。この点を御前会議で尋ねてみたい」と注文をつけた。近衛は「いえこれは軽重を指しているのではなく、単に項目を並べたのです」と弁解した。

〈軍事指導部は二枚舌を使う〉

天皇は納得せず、すぐ参謀総長・杉山元と軍令部総長・永野修身を呼び、戦争を主にして、外交を従にしているのではないかと強い口調で確かめた。二人は、こもこも、そうではないと答えた。しかし、それは連絡会議などの発言と異なつてゐる。むしろこれは、二人だけでなく、陸相の東条や後の海相の嶋田繁太郎らにも共通している。その点では軍事指導部は二枚舌を使つていたと言つていい。（保坂正康著「陰謀の日本近現代史」朝日新書より。写真も同じ。）

（次回は、御前会議、近衛内閣の辞任、東條の首班指名について記述する予定です。）